

通告４番目、５番、奥田富代子議員、発言席から一問一答方式で質問をお願いします。

奥田富代子議員。

○奥田議員 ５番、奥田富代子です。議長の許可を得ましたので、通告に従いまして一問一答方式で質問いたします。

今議会では、１点目、県が推進している地域見守り協力員について、２点目、避難所運営について、３点目、投票しやすい環境づくりについて質問させていただきます。

それでは、まず１点目、県が推進している地域見守り協力員についてです。

地域見守り協力員制度は、県の事業で、地域で支え合い、安全・安心に暮らせる社会づくりを目指し導入されました。協力員は独り暮らしの高齢者らをさりげなく見守り、ふだんの生活の中で挨拶をするなどの声かけや、いつもと違う異変のサイン、例えば最近姿を見かけなくなったとか、夜も洗濯物が干したままになっている。逆に、天気が続くのに洗濯物を干していないなど、また夜になっても電気がついていない、いつもと違うこの異変のサインに関心を払い、異変を感じたら行政や民生委員らに連絡をするというボランティア活動です。

任期は３年で、活動経費は年間６,５００円、県が市町村に補助金として交付するものです。この事業は２０１０年に始まり、本市も１４年の実績があると思いますが、そこでお伺いします。

１点目、現在の登録人数と目標人数をお聞かせください。

２点目、この協力員は、各市町村からの推薦を受けて、県が登録するということですが、推薦の要件についてお聞かせください。

○田中議長 ただいまの１番目の質問に対する市当局の答弁を求めます。

生活福祉部長。

○松本生活福祉部長 奥田議員ご質問の１番目、県が推進している地域見守り協力員についてお答えいたします。

まず１点目についてですが、本市の登録人数は現在３５人となっており、目標人数は、長期総合計画の中で、令和７年度までに３０人、令和１２年度までに４５人としております。

２点目の市の推薦要件は、につきましては、本市では民生委員・児童委員の方から推薦を受けて県に推薦しております。

○田中議長 再質問を許します。

奥田富代子議員。

○奥田議員 1点だけ、お伺いいたします。

令和7年度までに30人の目標に対し、既に35人が登録されており、令和12年度までに45人を目標にしているということです。

県によりますと、既に地域のために見守り活動等を尽力いただいている方々だけでなく、隣近所等のより多くの方々に、住み慣れた地域に応じた見守り活動への協力をいただくことで、地域全体でお互いに助け合い、支え合っていける社会づくりを目指したいということです。

本市は、現在のところ、民生委員・児童委員からの推薦を受けて県に推薦しているということではありますが、民生委員・児童委員からの推薦だけではなく、自治会や老人会とかで元気に活動されている方を推薦してもらってもよいのではないかと考えますが、市のお考えをお聞きいたします。

○田中議長 ただいまの再質問に対する市当局の答弁を求めます。

生活福祉部長。

○松本生活福祉部長 奥田議員の再質問についてお答えいたします。

自治会、老人会などからも推薦してもらってはどうかということですが、地域見守り協力員は、民生委員・児童委員と連携する必要がありますので、推薦につきましては、民生委員・児童委員協議会と相談して検討してまいります。

○田中議長 再々質問を許します。

(なし)

○田中議長 これで、奥田富代子議員の1番目の質問を終わります。

引き続きまして、2番目の質問をお願いします。

奥田富代子議員。

○奥田議員 石川県能登地方を震源とするマグニチュード7.6、最大震度7の揺れを観測した能登半島地震から、間もなく4か月になろうとしています。いまだ多くの方が避難生活を余儀なくされております。

県のホームページによりますと、南海トラフでマグニチュード8から9クラスの地震が、今後30年以内に発生する確率は70%から80%とされています。

今回の一般質問では、避難所の運営についてお聞きしたいと思います。

岩出市避難所運営マニュアルを見ますと、小規模避難所版と大規模避難所版があります。大規模避難所版のほうを読みましたところ、微に入り細に入り必要と思われることが記載されています。避難所の運営体系、運営主体では、避難所の運営は、

避難者自身が行い、市職員やボランティアは避難所の運営のサポート役に徹すると書かれています。

そこで、1点目としまして、避難所の資機材の使用方法など、避難者にとって分かりやすい説明書はあるのかをお聞きいたします。

2点目としまして、このたびの能登半島地震では、避難所ではトイレの問題が大きく取り上げられていました。汚物のたまったトイレに行きたくないのも、トイレに行く回数を減らすケースもよく聞きます。避難所での困ったことでのランキングでは、トイレの問題、プライバシーの確保、暑さや寒さ対策が上位を占めています。市の避難所運営マニュアルの季節を考慮した対策としまして、冷暖房設備の整備で、避難所内の温度環境に配慮するため、冷暖房機器等の整備を検討するとあります。そこで2点目として、トイレの問題、プライバシーの確保、暑さ・寒さ対策等の課題に対して、本市の対策はどうかをお聞きいたします。

3点目として、災害時に見過ごされてきた性被害や性暴力について、東日本大震災での調査によりますと、避難所での着替えをのぞかれたり、夜に男性が布団の中に入ってきたり、支援を引き換えに性的な行為を要求されたりした事例があったとのこと。被害者と加害者が共に被災者のため被害を訴え出にくく、泣き寝入りするケースも少なくないと考えられます。本市では、避難所での性被害、性暴力を防止する対策について、どのように考えておられるのかをお聞かせください。

○田中議長 ただいまの2番目の質問に対する市当局の答弁を求めます。

総務部長。

○木村総務部長 奥田議員、2番目のご質問の1点目についてお答えいたします。

岩出市では、先ほど議員もおっしゃったように、避難所運営マニュアルを作成し、各避難所へ配置しております。資機材の使用方法につきましては、マニュアルを備え付けており、特にマンホールトイレについては、設置訓練を中学校の防災訓練や交通公園でのイベントで実施しております。

続いて、2点目と3点目についてお答えいたします。

市では避難所の運営において、女性だけでなく、子供、高齢者、障害のある人など、全ての避難者が安全に避難生活できるよう取り組んでいるところでございます。女性、子供、高齢者、障害のある人等への犯罪に対する対策として、防犯ブザーやホイッスルの携帯を呼びかけを行うとともに、人目のないところへ1人で歩かない、明るい時間に移動する、移動するときは声をかけ合う、トイレに行くときには1人で歩かないなどの注意喚起や、危険箇所や必要な対策について意見を聞き、環境改

善を行うことが重要と考えており、避難所運営マニュアルにも記載しております。

プライバシーの確保については、段ボールパーティションなどを備蓄しており、暑さ・寒さ対策については、大型扇風機や毛布などの資機材を各避難所へ配置しております。

今後も円滑な避難所運営のために、様々なニーズの把握、資機材の整備に努めてまいります。

○田中議長 再質問を許します。

奥田富代子議員。

○奥田議員 避難所運営マニュアルを作成し、各避難所に配置し、資機材の使用方法についても、マニュアルを備え付けておられるとのことですが、しかし、懸念されることは、避難所運営マニュアルの情報というのは膨大で、知りたい情報を探すのに時間がかかる。また、複数人で作業しづらいなどの問題が発生するという点です。最近では、市販の避難所開設キットを配備する自治体が増えてきたと聞きます。避難所開設キットを導入するメリットには、災害時の迅速な対応が可能になることです。災害は突如として訪れ、その際、避難所の設営に時間を要すると、避難者の安全確保や生活環境の整備が遅れ、混乱が生じる可能性があります。避難所開設キットの指示書どおりに行動することで、誰でも避難所を開設でき、必要なアイテムが1つにまとまっているため、迅速な対応が可能となります。

そこで、避難所開設キットを配備する考えについてお聞きいたします。

2点目としてトイレの問題です。能登半島地震でトイレトレーラーの活躍が報道されています。牽引車さえあればどこにでも移動ができ、給水タンク、汚水タンクを備えているため、到着後すぐに使用することが可能です。まだまだトイレトレーラーを所有する自治体は少ないと思いますが、これからは普及が進み、いざというときは自治体同士で助け合えるようになることを期待します。

そこで、本市での導入の考えと、近隣市町村での導入状況についてお聞かせください。

○田中議長 ただいまの再質問に対する市当局の答弁を求めます。

総務部長。

○木村総務部長 奥田議員の再質問にお答えいたします。

まず、避難所の開設キット、これの整備ということです。市で避難所設営には避難所運営マニュアルのほかに、大きな施設には施設別マニュアルも用意しております。これで対応は可能と考えてございます。

なお、避難所開設には、まず施設の安全確認を施設管理者、もしくは市職員が行い、その後、施設に用意しております、これがちょっとキットと合うのかどうかはあれなんですけど、避難所開設スターターキット、これを用意してございますので、施設の運用開始を始めることとなります。

次に、トイレトレーラーについてですが、市ではトイレトレーラーというよりもマンホールトイレの整備を現在進めております。また、下水道が破損した場合など、マンホールトイレが使用できなくなる場合にも備えまして、凝固剤を用いた簡易トイレの整備も併せて行っております。このことから、現在のところ、移動式トイレの考えはございません。

また、ただ令和6年度において、和歌山県においてトイレトレーラーの予算を計上しているということを知っておりますので、そちらのまた内容なども精査してまいって、いろいろ研究してまいりたいと考えてございます。

○田中議長 再々質問を許します。

(なし)

○田中議長 これで、奥田富代子議員の2番目の質問を終わります。

引き続きまして、3番目の質問をお願いします。

奥田富代子議員。

○奥田議員 3番目は、投票しやすい環境づくりについてです。

選挙は、市民の声をじかに聞く重要な機会です。投票できない、投票しにくい有権者がいないよう、投票しやすい環境づくりは重要です。最近、多くの方が利用するショッピングセンターに投票所を設ける取組をしている自治体もありますが、二重投票を防ぐ手だてとして、全投票所にオンラインでつなぐ必要があり、本市では今のところ難しいと思われまます。

今議会で投票しやすい環境づくりを質問するきっかけは、高齢者の方から、投票所まで遠くてよう行けない、近くに投票所をつくってもらえないかとの声を聞いたからです。1人でも多くの方が投票所に来やすくするのは行政の務めと考えます。

そこでお聞きします。1点目、当日投票所と期日前投票所の数をお聞きいたします。

次に2点目として、令和4年第3回定例会で同僚議員が、高等学校や商業施設へ公用車などを活用して移動期日前投票所の開設を一般質問されました。それに対するご答弁は、投票しやすい環境整備は重要であると認識しており、今後も引き続き研究してまいりますとお答えされておられました。

私は、高齢者の投票しやすい環境の観点から、車を使ったこの移動式投票所の実現を目指したく、移動式の期日前投票所の調査研究の進捗についてお聞きしたいと思います。

○田中議長 ただいまの3番目の質問に対する市当局の答弁を求めます。

行政委員会事務局長。

○西浦行政委員会事務局長 奥田議員、3番目のご質問、投票しやすい環境づくりについての1点目、市における投票所の数は、についてお答えいたします。

現在、市の投票所の数は、期日前投票所が1か所、当日投票所が18か所となっています。

次にご質問の2点目、移動式の期日前投票所の調査研究の進捗は、についてお答えいたします。

現在、幾つかの自治体におきまして、投票所の統廃合により、利便性の低下した地域等に移動期日前投票所を開設しており、山間部等の集落等では投票機会の提供となっております。しかしながら、二重投票を防ぐオンラインシステムの構築や、職務代理者、投票事務従事者や立会人の確保、対応可能人数など、課題も幾つかあると考えます。

選挙管理委員会におきましても、期日前投票所の増設は、選挙人の利便性を高め、投票機会の拡大につながることから、投票しやすい環境整備が重要であると認識しております。また、若者はもとより、来る高齢化社会に向けて、さらなる投票機会の提供は重要な課題であると考えますので、様々な選択肢を引き続き調査研究してまいりたいと思います。

○田中議長 再質問を許します。

奥田富代子議員。

○奥田議員 様々な選択肢を引き続き調査研究されるということですが、他市町村における移動式投票所を導入している事例、また導入に向けて進めている事例等があればお答えください。

○田中議長 ただいまの再質問に対する市当局の答弁を求めます。

行政委員会事務局長。

○西浦行政委員会事務局長 奥田議員の再質問にお答えいたします。

他市町村の事例はということですので、一部では、ノンステップバスや福祉車両等を利用し、投票所の統廃合により最寄りの投票所がなくなった地区や山間部集落への対応等に活用されております。

それから、これは試験導入ではございますが、つくば市において、自宅前に移動式期日前投票所を運行するオンデマンド型移動投票所の実証実験が実施され、導入に向けて進められているところでございます。こちらに関しては、先行事例として注視してまいります。

○田中議長 再々質問を許します。

(なし)

○田中議長 これで、奥田富代子議員の3番目の質問を終わります。

以上で、奥田富代子議員の一般質問を終わります。